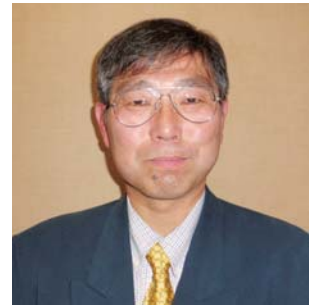


宇都宮市PTA連合会会長のメッセージ

皆さまこんにちは、会長の清島康伸です。宇都宮市PTA連合会は、「明るく・仲良く・元気なPTA活動」を活動方針として掲げ、子ども達の親として、そして社会や組織の一員として、精力的に活動に取り組んでいます。

このような中、入学式や卒業式、運動会、種々のPTA活動など様々な活動を通じて、子ども達から多くの感動をもらうとともに、多くの保護者と接することによる視野の広がりや、PTAで知り合った仲間とのネットワーク化など、多くのメリットを日々実感しているところです。

今後ともPTA活動をより一層活性化させたいと考えておりますので、皆様のご指導・ご協力をお願いいたします。



思春期の子どもと向き合う

今回は、医師でカウンセラーの明橋大二先生を講師として迎えて開催した「【思春期版】子育てハッピーアドバイス～思春期こそ意識したい子どもの自己肯定感～」の概要についてお伝えします。



明橋大二先生

※自己肯定感は、こころの土台
安心感をもらった人が自立します。



子どもにとって
一番大切なのは、
自己肯定感

思春期では…

- ・子どもの心は、「依存」と「自立」の繰り返しで成長する。
⇒思春期の子どもが反抗したら一安心
(それまでの子育てが良かった、子どもの心が健全に成長しており、自己主張をはじめた証拠)
- ・甘えた人が自立する。してはいけないことは、過干渉(抑圧)と放任
- ・子どもへの手助け 意見+決定権を、子どもに渡す。
- ・父親の母親へのサポート(ここまで育ててきた苦労をねぎらう。)[子が宝なら、母もまた宝]

思春期の子どもへの具体的な対応

- ・話を聞く
- ・気持ちを汲んで、言葉にして返す
- ・ほめる(できないところより、できているところに注目) ※比較するなら、以前のその子と
- ・子どもの頑張りを認めてねぎらう(「頑張れ」より、「頑張っているね」)
- ・ありがとうを伝える